



2013年2月号

家庭倫理の会は「よくする活動」を推進しています
家庭を、地域を、日本を、地球をよくする活動を推進しています



普及目標達成！

平成25年度1月普及キャンペーンはお蔭様で無事終わり、ありがとうございました。
中野中央支部ではまず、2班（町田班）、3班（久保田班）が先頭を切り、南中野と、内倉会長自ら入会を普及、最後は南台、東中野と1月31日支部目標12名のところ12名達成でした。（舟久保副推進長）
又、野方支部、当初は普及が進まなかったのですが、再度阿部支部長を中心に皆さんと心合わせまして27日に12名目標中13名が入会達成できました。当日に内倉会長、桐山推進長・飯田選抜副参事の方達は全国会長・推進長会で沖縄へ出張中でした、早速会長へメールを致しまして達成の報告を申し上げました。会長から早速喜びの返信があり支部の方と喜びを満喫いたしました。
早速本部より、全国に先駆け「中野区」が他の会と同時で普及達成の号外が発刊、紹介されました。（村田広報委員長）

「全国 会長・推進長会」のお知らせ！

推進長 桐山 敬子

1月26日（土）～27日（水）沖縄にて全国会長・推進長会が行われた。
中野から内倉会長。飯田選抜副参事と共に参加。飛行機で約2時間半。東京より10度気温が高い南国の地は桜まつりの最中であった。あいにく桜には出会えなかったが…。それでも コバルトの海が迎えてくれて、沖縄に来れたのを実感。開会式のあと、創生の仕上げに向けて、徳江秀雄生涯局局長の研修。その後6つの家庭倫理の会の活動報告があった。皆さまざまな問題をかかえながらも、知恵をしぼり、工夫をし、高い目標をかかげ、実践されている素晴らしい報告であった。その後の懇親パーティーでは、地元沖縄の会の方々への歌や踊り（趣味の域を超えている）の歓待を受け、帰りには、手作りのサーターアンダギーを参加者全員頂いた。
妹は家庭倫理の会高松市で推進長。姉妹で参加することができた。高松からは那覇への便が少なく、前日から泊まっていた、26日の徳江局長のおはよう倫理塾に出席させてもらった。参加者180名。沖縄は熱い。そして暑い。翌朝のおはよう倫理塾は、実践報告大会。苦難福門。4名の方の素晴らしい実践報告を伺った。その後は丸山敏秋理事長の講義。拡充のカギは実践にあり～今、世の中は問題山積、変革すべきことはたくさんある。どうしても外へ目が向くが大切なのは内→自分。倫理をよりどころに自分を磨く。そういう人を増やすことが日本再生に繋がっていく。文化は人が作っていく。倫理だけでは変わらないが、倫理がなければ正しく変わらない。
最後に「涙そうそう」を皆で歌って終了した。
この会で気づき学んだことを中野区の活動に生かしていけるよう精一杯させていただきます。



熱い 暑い 沖縄の海



地元の歓迎・歓待踊り



桐山推進長・飯田選抜副参事・内倉会長

「直観力を磨く」

1月9日スマイルなかので全役職者・テキスト研修が開催されました。20名の方が参加。

研修第2講「直観力を磨く」講師は大澤民子専任講師でした。

直観力→即効→明朗愛和 反対→ためる→イライラする→暗くなる→病気

人生は今しかない、先のこと、過去のことこだわる、心配はよくない。

ものごとには順序がある、下記（純粋倫理実践のこころえ基本十カ条）のように実践すれば直観力が自然についてくる。

- ① 即行（気づいたらすぐ行く）
- ② 純粋（澄みきったところ）
- ③ 直行（まっすぐに行く）
- ④ 結果にとらわれない（くよくよ心配しない）
- ⑤ 緊張（はりつめた心）
- ⑥ 一気呵成（途中で気をぬかない）
- ⑦ 貫徹（押し通す）
- ⑧ 反復不退（うまず、たゆまず）
- ⑨ 不悲不喜（悲しまず、喜びすぎず）
- ⑩ 慎終（きちんとした後始末）

文化部より

日頃皆さんと「秋津書道」「しきなみ短歌」とそれぞれ月2回、1回講師をお招きいたして習字、短歌を通して学んでいます、会員のみなさんもと一緒に楽しくご参加していただき、生涯学習に如何ですか。



天空にかかる半月仰ぎつつ早朝を
ゆくなり一人ゆくなり
(下瀧久子短歌講師)

み冬づく闇夜に数多星影の流れる
帯の光つつ消ゆ
(池田八重子支苑班)

重たげな手提げ袋にランドセル
冬枯れの道元気な子等と

鮮やかに街を黄色にそめにけり
冬日光る銀杏並木は

*****秋津書道*****

*****しきなみ短歌*****

倫理の集い

(池田八重子副参事)

1月30日 野方北町会館で倫理の集いが大木良男選抜副参事の講話で開催されました。参加者11名(未会員1名)

副参事は奥様も選抜参事として、多くの会へ倫理普及に尽くされています。講話の冒頭に教育勅語の意味をお話「あれは決して軍国主義ではない、人として当たり前親に孝養を尽くし、夫婦仲むつまじく兄弟仲良く暮らすこと国に一大事が起きたときにはこぞって国の為に己の出来る事をして世の為人の為に尽くしなさい、それが人の進む道ですよ」との明治天皇御心である。それが教育勅語から外された事は惜しいことだと思つと講話。

純粋倫理は実践しなければ、何も判らない、だから教育・政治・医学倫理等は本質的に違う。講師は毎朝夫婦で挨拶を畳の部屋で手をついて行っている、朝だけだが、なかなか良いと実感している。歩きながら「ありがとう」と言うこれも気持ちが良い。毎朝近所の清掃、このお蔭か身体の通りもよく、詰るところがなくなった、嘘ではないかと考えている。「ハイ」受け取ることの素晴らしさ、威力の発揮をソフトな口調で淡々と講話実践の大切さをしみじみしました。

編集広報室より

2月は風邪のひきやすい季節です、インフルエンザに注意！ 手洗い・うがいをしましょう

村田 守 広報委員長

ホームページも是非ご覧下さい <http://nakano-rinri.jp>

家庭倫理の会中野区 発行責任者:内倉あゆ子 / 編集責任者:村田 守